

人カクレーン等を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	2	16~17	ガーデン用品売場で商品の種ジャガイモが入ったカートを運搬している際に、向かいから歩いてくるお客様を避けようとし、カートをずらした際に、体と右手首をひねり、痛めた。	54	80209	19	—
2017	3	9~10	構内にて、レール整理の目的でレールの下に半マクラギの受け台を入れるため、レール吊り上げ器にてレールを吊り上げていたところ、吊り上げ器の設置箇所の地盤が軟弱であったためレール吊り上げ器が転倒し、吊り上げたレールが左足甲に落下した。	24	30104	6	50 ~ 99
2017	5	11~12	当社工場内において、海藻（ヒジキ）を計量し選別台に戻る際、コンテナ移動のローラーの端に躓き転倒した。	52	10102	2	100 ~ 299
2017	6	11~12	被災者は、現場作業終了後、作業員詰所へ戻るため階段を上っている途中、右足つま先を躓き両手をつく形で前のめりとなり、足首が急に伸びる状態で体勢を崩した時に受傷した。	41	11609	19	50 ~ 99
2017	7	11~12	鉄道車両の配線引換工事のため、電線ドラム（直径1,50mm重さ140kg）に鉄パイプを通し、電線ドラムを回避させるため、ドラムジャッキを用意し片方をドラムジャッキに乗せもう片方をドラムジャッキに乗せようと持ち上げたところドラムジャッキがぐらつき鉄パイプを持っている右手の方に電線ドラムが滑り電線ドラムの側板を止めているボルトのナットとドラムジャッキのストッパーの受	40	11502	7	30 ~ 49

			け金具の間に挟まれ負傷した。				
2017	9	11～ 12	車をリフトに上げ作業中、ミッションジャッキに角材をはめて移動した時にはずれて頭に落下した。頭と首を痛めた。	36	11701	4	10 ～ 29
2017	10	8～9	本社工場内にて、給食用の弁当缶を収納しているステンレス製のラック（長さ1m80cm、高さ1m60cm）の片づけ作業中、ラックを殺菌室に押し入れる際に、入口部分の段差のところで急いでいたこともあり、力いっぱい押したときに段差を乗り越えるときの勢いでラックが左側に流れ、押していたラックと左側に置いてあったラックとの間に左手薬指を挟み負傷した。	34	10109	7	10 ～ 29
2017	10	0～1	A2橋台下り線側の側道を規制し、化粧板（長さ約6m幅0.9m重さ約400kg）の撤去作業中橋台に立ち、レバブロックで化粧板を降下していた際、橋台側面にあるコンクリート壁に化粧板が接触し、降下の障害となった。レバブロックが吊元から外れ化粧板が落下し胸部に接触した後、大腿部上に落下した。	42	30105	4	10 ～ 29
2017	10	8～9	金型係全室内の作業台の上で削出成形機の金型をメンテナンスする際に上下に装着した金型を外すため、ホイストで釣り上げ、ゴムハンマーで金型の両サイドを叩いて外していた。なかなか外れず20～30回叩いていると金型が揺れ出し、その揺れを止めるためについ金型に左手を添えてしまい、右手で持っていたゴムハンマーを自分で自分の左手を殴打した。	36	170101	7	30 ～ 49
2017	12	11～12	被災者はエレベータシャフト内でエレベータ用間柱鉄骨の後付け作業を実施していた。揚重用チルホールとワイヤーを使用して間柱鉄骨を最上階（7F）まで揚重したが吊り代が少なくなり、間柱鉄骨の向きを変えられなくなった。レバブロックを吊元のイーグルクランプに設置して、間柱鉄骨の向きを調整し、再度チルホールの巻き上げ作業を行ったところ、イーグルクランプが外れ、間柱鉄骨を吊り上げていたワイヤーと単管パイプの間に左手を挟まれた。	26	30201	7	1～ 9

2017	12	10~11	<p>本社第1工場内で設備をトラックから降ろし、指定場所に置く作業中、横型旋盤（L2,500mm、W1,900mm、H2,400mm、重量2.5t）の下に設置した台木を鉄製ブロックに入れ替えるため、作業員Aが爪付ジャッキを上昇させた。重心が悪かったので位置を変えようとしたところ、作業員Bが仮置きに使用していた台木から横型旋盤が浮いたので台木を抜き（推定）、不安定になり横型旋盤が転倒し、作業員Aと作業員Bが横型旋盤と床の間に挟まれた。</p>	62	50101	4	30 ～ 49
2017	12	10~11	<p>本社第1工場内で設備をトラックから降ろし、指定場所に置く作業中、横型旋盤（L2,500mm、W1,900mm、H2,400mm、重量2.5t）の下に設置した台木を鉄製ブロックに入れ替えるため、作業員Aが爪付ジャッキを上昇させた。重心が悪かったので位置を変えようとしたところ、作業員Bが仮置きに使用していた台木から横型旋盤が浮いたので台木を抜き（推定）、不安定になり横型旋盤が転倒し、作業員Aと作業員Bが横型旋盤と床の間に挟まれた。</p>	57	50101	4	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html